

窓から宍道湖を臨み、広がる青空。

緑に恵まれた玉湯の丘で期待に応える病院を目指します。

No.33
2013年 秋号

玉造厚生年金病院広報誌

たまつくり

Now ナウ



“松江玉造ハーフマラソン”で今回救護班として活躍した当院医師と看護師

CONTENTS

最新医療レポート	2・3
病棟での認知症について	3
TOPICS	4・5
インターンシップ体験記／今月のレシピ	6
病棟紹介／新人紹介	7
INFORMATION	8

人工関節OP件数 8,216件 (10月20日現在)

理 念

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。



一般財団法人 厚生年金事業振興団

玉造厚生年金病院
日本医療機能評価機構 ver6.0認定

人工関節置換術における 金属アレルギー対策



整形外科
川上 泰広

当院での対策について

近年、環境の変化やアクセサリなど装飾品の普及により若い女性を中心に金属アレルギーが増えています。医療の現場でも、特に我々整形外科の手術は、骨接合術や人工関節置換術で金属インプラントを使用するため、その問題と深く関わることになります。人工関節置換術を受けた後は、一度入れたインプラントと一生お付き合いしないといけないので、長期的に良好な成績が求められます。しかし、金属アレルギーが原因で初回手術から数年で再置換術になることもあり、その対策は重要になります。

金属アレルギーは遅延型アレルギー（IV型）や接触アレルギーと言われ、金属と接触すると遅れて皮膚が痒くなり、腫れてきます。これは、皮膚だけでなく関節内でも同じ現象が起こりえます。人工関節置換術後に金属アレルギーが生じると1、2ヶ月から半年後に皮膚に発疹が生じ、場合によっては金属インプラントの緩みに繋がり再置換術になる場合があります。

金属アレルギー対策で一番大事なことは、手術前の問診です。過去にアクセサリや歯科インプラント（図1）で金属アレルギーが生じた場合は医師ならび看護師に伝えなければなりません。金属アレルギーの素因が疑われれば、パッチテストで金属過敏テストを行います（パッチテストは効果判定に1週間かかるので手術前ではなく、外来の時点で伝えてください）。実際にパッチテストを行うとニッケル、コバルトクロムといった金属が陽性を示すことが多いです。

人工関節用インプラントの材質は高い弾性率、強度、耐摩耗性が求められコバルトクロム合金が広く使用されていますが、残念ながら先の理由で金属アレルギーの患者さんには適していません。そこで、当

院では金属アレルギーの方が人工関節術を行う場合はニッケル、コバルトクロムが含まれていない、GENESISII/LEGION（Smith&Nephew社）もしくはBi-Surface5（京セラメディカル社）というインプラントを使用します。前者（図2）の材質はジルコニウムという金属アレルギーが殆どない金属からなり、さらに表面を熱処理してセラミック仕立てにしています。後者（図3）はセラミックを材質にしているため金属アレルギーとは無縁です。また、チタンが最近の流行りですが、チタンは生体親和性に長けており、金属アレルギーは稀ですが耐摩耗性に劣るため関節摺動面には適していません。また、人工関節術の場合は、セメントカップもしくはチタン合金カップ、摺動面をセラミック/ポリエチレン、ステムにチタン合金ステムを組み合わせ金属アレルギー対策を行っています。

金属アレルギー対策で重要なことは過去に金属アレルギー症状を経験した場合はその旨を医療者に伝えることです。金属アレルギーが疑われればパッチテストを行い、陽性ならば金属アレルギーに対応したインプラントで置換します。



図1_金属アレルギーを引き起こす装飾品
過去、左記の装飾品などでアレルギーが生じた方はご注意ください。
◎メガネ、ネックレス、指輪、ピアスなど



図2_ GENESISII®/LEGION®
(Smith&Nephew社)

大腿骨側はジルコニウム合金で関節摺動面を熱処理してジルコニアセラミックに加工している。ジルコニウムはチタニウムと同様に生体親和性が良い。脛骨側はチタン合金。



図3_ Bi-Surface5®
(京セラメディカル社)

材質がセラミックで金属アレルギーとは無縁。セラミックで細やかな摺動面を再現できるのは京セラ唯一の技術。

認知症ラウンド しています

認知症について
お困りの方はご相談下さい



認知症看護認定看護師
荒木 さおり

皆様、こんにちは。認知症看護認定看護師の荒木さおりです。認定看護師には専門分野に関して実践・指導・相談を行う役割がありますが、今回は相談について、私の病院内での活動を紹介します。

現在、私は「認知症ラウンド」と称して月1回のペースで全病棟を訪問しています。認知症ラウンドでは、認知症患者が心身共に安定した状態で過ごせ本来の入院目的が達成できるように、看護師やご家族が関わり方で困っていることについて患者の状態を把握した上で、共に解決策を検討しています。

私は認知症ラウンドを始めた頃は各病棟を訪問する際には大変に緊張していました。特に初めの頃は「私に相談してくれるだろうか？」でも「まずは自分をアピール!」と思いながらラウンドを続けていました。そうしていくうちにラウンド時の相談件数が増えていき、困ったことがあるとラウンド日に限らず相談を持ちかけてくれるようになっていきました。

最近では、以前相談した内容と同じようなことに関しては以前の解決策を参考にし病棟なりに関わり方を検討した上で「これでいいだろうか?」と相談をしてくれます。認知症患者への関わり方の基本が徐々に各病棟に浸透しており、ラウンドを続けて良かったと実感しています。

また、病棟スタッフからご家族の相談に乗って欲しいという依頼も増えてきました。ご家族の生の声を聴かせてもらうことは患者・家族を支えていく上で大変重要です。各病棟の看護師がご家族を支えていく際の橋渡しになれるよう丁寧に関わることを心掛けています。最近では外来通院中の患者のご家族や保養ホーム滞在中の方の物忘れに関する相談に対応することもあります。

病院スタッフのおかげで徐々に私の活動の場が広がってきたと感じています。今後も病院内・外問わず相談者（患者・ご家族・病院スタッフなど）に合わせて臨機応変に対応させていただきますので、どうぞお気軽にご相談ください。



パッチテストの様子



人工関節手術を受けた患者様の日常生活における注意説明会

ナーズによる
日常生活に関する説明西2階病棟
平塚 万隆美

人工関節を受けた患者さんは、急性期病棟から術後の経過が良好であると亜急性期病棟又は回復期リハビリテーション病棟に移動し、リハビリテーションを行い社会復帰または家庭復帰していきます。人工関節を受けた患者さんは生涯に渡って人工関節の管理が必要です。

リハビリテーション病棟では、術後のリハビリテーションだけでなく退院後の日常生活指導も行っております。

その一つが人工関節を受けた患者さんに生活動作や日常生活上の注意点について説明する集団での指導です。セルフケア能力を向上させ人工関節と上手につきあってもらうために栄養部と連携し行っています。人工関節に関することを熟知した病棟看護師が実施します。

◆指導の実際

- ◎日時：毎週金曜日 ①14:00~14:30 栄養士からの指導
②14:30~15:00 看護師からの指導
- ◎場所：2階患者食堂
- ◎対象：人工関節を受け術後2週を順調に経過した患者様
- ◎説明：看護師から「人工関節の手術を受けられた方へ」のパンフレットに基づき説明します。患者様へもパンフレットを渡し、一緒にみてもらいます。
- ◎内容：人工関節の手術後に注意して欲しいこと特に「感染・摩耗（ゆるみ）・脱臼」について、また「生活様式の工夫」「訓練について」「肥満予防」「身体障害者手帳交付」などについて説明します。

初めて手術を受けられた方、2回以上受けられた方など様々な境遇の患者様が参加され、経験のある患者様が初めて受けられた患者様に体験談など話されたり、個別指導とは違った共有できる部分もあり、有意義な集団指導となっています。患者様からは日常生活に大変に参考になっていると言う声も聞かれています。

しかし、1回だけでは理解が得られない部分もあり、退院までに受持ち看護師が中心となり患者様が安心して治療に専念して頂け、手術後の生活が送れるように個別に指導・援助も行っています。

今後も今までに患者様から頂いた貴重な意見を大事にして、患者様に寄り添った指導ができるようにスタッフ一同頑張っていきます。

栄養士による説明

管理栄養士
周藤 あゆみ

人工関節の手術をされた患者さまに、「健康で長生きするために!」という題で管理栄養士が30分程度の話をさせていただきます。

話の中心は、体重コントロールの必要性についてとなります。今までに医療機関等で「体重が増えないように気を付けて下さい。」と言われた経験のある方は少なくはないと思います。肥満症は膝や股関節に負担がかかるだけでなく、内科的疾患に対しても大きな影響を及ぼします。

食事療法と聞くと「私は大丈夫」「痩せているから関係ない」「聞いてもどうせできない」等、様々な思いがあると思います。

最近健康食ブームで色々な情報や宣伝がとびかっています。患者様より「何を食ったらいい?」とよく質問を受けますが食品は薬ではありません。特定の食品を食べたら治るとか、良くなるという物はありません。また、ダイエットもただ単に体重が減れば良い訳ではありません。間違ったダイエットを行うと、骨粗鬆症を進行させたり、貧血や体タンパクの崩壊を招き、筋肉量を減少させます。結果、自身の身体を壊してしまうこととなります。食に対して正しい選択をするためには正しい知識が必要です。

できるだけ多くの方に興味を持って聞いてもらえるよう、配布した資料をもとに身近な食事の話から、生活習慣病やメタボリックシンドロームの話をおりませつつ、日々の食生活についてアドバイスします。

この機会に得られた知識を退院されてからの生活の中で少しでも役立ててもらえればうれしく思います。



松江玉造ハーフマラソンで選手の救護を担当!!

整形外科医師
神庭 悠介

今年で56回目を迎える玉造ハーフマラソンは、日本陸連公認のレースであり、マラソン愛好家の中では、秋のマラソンシーズンの開幕を告げる由緒正しいレースとして知られています。昨今のマラソンブームによって毎年参加者が増え続けているレースですが、残暑の中21.1km走りきることは、日頃の練習がなければ容易なものではありません。冬のフルマラソンに匹敵する過酷なレースであり、熱中症や怪我に対する十分な対策が必要となります。

私も54回、55回と同大会にランナーとして出場しましたが、54回大会は晴天の中、まさに耐暑のレースとなりタイア寸前でのゴールとなりました。55回大会はランナーにとって恵みの雨が降り、暑さこそ耐えられるものですが、スリップしやすい路面に苦戦しました。こういったランナーとしての経験をもとに56回大会は救護班としてレースに参加することになりました。

ランナーにとってその日の調子は、スタートするまでわかりません。本格派のランナーは、記録を狙って限界まで追

い込む走りを見せ、市民ランナーは完走を目指してゴールまで粘って走り続けます。アメリカスポーツ医学会の指針では、気温が28℃を超える中でのマラソンは、熱中症に厳重警戒が必要とされております。今大会も午前9時のスタートから徐々に気温が上昇し、当日の最高気温は28℃に達したため、ゴール後に倒れこむランナーが続出しました。ゴールしたと同時にランナーの状態を確認し、適切な処置・判断が必要となります。たくさんのスタッフの協力もあり、幸い重症の熱中症が発生することなく大会が無事終了しました。

また来年もたくさんのランナーに良い思い出を作ってもらえるように、玉造病院の代表として協力したいと思っております。

人工関節友の会・市民公開講座
「元気に歩ける幸せ」教室を開催しました東3看護師長
川上 美里

講座当日の9月29日は、191名の方にご参加いただきありがとうございました。人工関節友の会は早7回目、市民公開講座は6回目になりました。今年は天候に恵まれ、開催前から受付周辺で多くの方に開始を待っていただきました。また、受付後会場では人工関節友の会会員の方々が声をかけ合い、スタッフにも笑顔で挨拶していただき、お互いに再会を喜びました。

最初の講演は若槻圭理学療法士による『人工関節手術を受けた方のより良い日常生活を送るために』をテーマに話していただき、患者様のアンケート調査より退院後も多くの患者様がリハビリテーションを継続しておられることがよく分かりました。しかし、若干の方がしていないと答えられ、体重増加の一因である可能性があります。リバウンドを予防するには日常生活に運動を取り入れること、心を健康に保つことが大切であることが分かりました。



2つ目の講演は石部達也整形外科部長・脊椎外科センター長による「腰椎のよくある病気」をテーマに話していただきました。腰痛でお悩みの方は大変多くいらっしゃいます。骨粗鬆症による胸腰椎圧迫骨折の手術療法（バルーン開放プラスティ）など最新の治療法を織り交ぜての講演であり、参加された皆さまが真剣に聞き入っておられる姿が印象的でした。

例年、最後にアトラクションを通じて和やかな雰囲気ですべて終了していましたが、今年は講演の後に医師・看護師・栄養士・訓練士による医療相談コーナーを企画しました。各相談コーナーには計26名の医療相談があり、それぞれの専門家が直接質問にお答えしました。その間、会場では人工関節友の会の方々がいつしかコミュニティを形成され、和やかな雰囲気でお話されていました。

今年はお出雲大社の大遷宮もあり、鳥根県の観光地のどこに出かけても賑わっています。玉造厚生年金病院として行う人工関節友の会・元気に歩ける幸せ教室は今回が最後になりますが、新機構になりまして多少の形を変えつつも企画してまいりたいと考えています。また来年もご縁があったら再会できますように。

インターンシップ体験記



平岡栄養士専門学校
落合 桃子

7月29日～8月9日までの2週間、実習を受け入れて頂きありがとうございました。

実習では、病院で働かれています栄養士の方の実務に触れられ、またスポーツ栄養の現場にも立ち会うことができ、貴重な体験をさせていただきました。

そのほか、院内にある沢山の部署にも見学に行かせていただきました。見学を通じ、病院で働くためには、スタッフの方たち同士の連携が大切なんだなあと思惑しました。学校に戻りましたら、この実習で学んだことを活かし、カッコよく優しい栄養士になれるよう勉強を頑張っていきたいと思ひます。

玉造厚生年金病院で実習ができ本当に良かったです。ありがとうございました。



島根県立大学短期大学部
山下 佳絵

今回、玉造厚生年金病院で5日間という短い期間でしたが、栄養士の実習をさせていただきました。初めての实習、初めての環境で緊張していましたが、栄養部の方々は明るく楽しい方ばかりでした。

実習では学校で学んだことを実際に体験や見学をして、さらに理解を深めることができ、貴重な経験になりました。また、実習期間中に院内を案内していただき、放射線室や義肢室などを見学する機会がありました。どの先生方も親切に詳しく説明をしてくださり、大変勉強になりました。

5日間、貴重な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

今月の

Recipe of this month

当院の管理栄養士が健康や美容などに効果的なレシピをご紹介します

レシピ

管理栄養士 土江 篤



◎レシピ (2人分 / ピザ一枚分)

- ピザ生地用材料
強力粉 100g / 薄力粉 25g / 砂糖 5g / 塩 1g / ドライイースト 5g / ぬるま湯 70g / オリーブオイル 大さじ1
- トッピング用材料
無花果・中くらい 2個 / 林檎・中くらい 1/3個 / サラダほうれん草 少々 / バルサミコ酢 大さじ4 / はちみつ 大さじ2 / モッツアレラチーズ 1個 / ベーコン 3枚

- ① オープンを220度に予熱する。
- ② ピザ生地用材料をボウルに入れて混ぜる。
- ③ なめらかになるまで捏ねる。(ネバつくようなら薄力粉を振る。)
- ④ ボウルにサランラップをして、なるべく暖かい場所に15分置いておく。
- ⑤ いちじくを四等分、りんごを薄く切る。モッツアレラチーズは手でちぎっておく。
- ⑥ サラダほうれん草をざっくりと切る。
- ⑦ 15分寝かしたピザ生地は、少しフワツとなるので薄力粉を少し振りながら綿棒で伸ばす。
- ⑧ ピザ生地にオリーブオイルを薄く塗りモッツアレラチーズ、いちじく、りんご、ベーコンをトッピングして、220度のオープンで15分焼く。
- ⑨ ピザを焼いている間に、鍋にバルサミコ酢とはちみつを弱火にかけてシロップ状にする。
- ⑩ 焼き上がったら、⑥のサラダほうれん草を盛り付け、⑨のバルサミコソースをスプーンでかける。

秋になってくると様々な果物が回りまわります。そこで今回は「無花果(いちじく)」を使ったレシピをご紹介します。

無花果は、ペクチンという食物繊維を豊富に含んでいるため整腸作用があり便秘解消につながります。また鉄分も摂れるので、貧血の予防にも役立ちます。

その他ポリフェノールも多く含んでおり、老化の原因とされる活性酸素の除去を促してくれます。さらに女性ホルモンのバランスを整えてくれる働きもあるため美容効果が期待できます。

無花果は女性にとって理想的な果物ではないかと思ひます。と言っても、食べ過ぎはダメですよ…。

病棟紹介

整形外科外来



整形外科外来主任看護師
廣野 里子

整形外科外来は、院長を含む整形外科医14名、師長を含む看護師8名、看護補助者3名のスタッフで診療を行っています。

当院は、整形外科とリハビリテーションの専門病院として、多くの開業医の先生からの紹介やインターネットを通して県外からの診察希望があります。1日平均約200名の患者様の診療に当たっていますが、予約制を導入しており、できる限り待ち時間を少なくするよう努めています。また、「患者様お呼び出し機」を手渡ししており、メロディが鳴ったら戻ってきていただければよいので、待合室ですずっと待っている必要がなく、患者様に喜ばれています。整形外科疾患の中でも、人工関節外来、脊椎外科外来の専門外来を設け、病棟、手術室との連携を密に取っています。

外来で、看護師が診療介助に着く場合、常に同じ看護師が対応できるようにしています。再診で来院された時、患者様の状態をよく理解している看護師が対応することで、診療がスムーズに行われるためです。患者様も顔なじみの看護師がいると声かけやすいと言って頂き、より良い関係が築けていると感じています。

手術が決定すると、身体的問題はないかをチェックし、必要な検査や内科受診、神経内科受診などをしていただき、安全に手術が受けられるように配慮しています。

また、患者様が十分に納得して手術が受けられるよう不安の軽減に努めるとともに、退院後の生活を安心して送っていただけるようにソーシャルワーカーやケアマネジャー、訓練士等と連携して対応しています。

私達整形外科外来スタッフは、病院の窓口として、常に笑顔を忘れず、今後もよりよい看護が提供できるように頑張っていきたいと思ひます。



看護師
石橋 美希

4月から当院の回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。配属されてから、半年経ちますが、勉強することが多く、日々学んでいます。日々、リハビリに励んでいる患者様の支えとなれるように、いつも笑顔で真心こめてをモットーに、よりよい看護の提供ができるように頑張りたいと思ひています。



看護師
相模 恵子

25年の歳月を経て、玉造の地へ帰ってきました。穴道湖の夕日を眺めながら、素晴らしい環境の中で、また仕事ができることは夢にも思いませんでした。このたび、縁があり、勤めさせて頂くことになりました。看護師人生最後の挑戦と考えています。若い人たちに学びながら、力の出せるかぎり、私らしさを演出していきたいと思ひます。



看護師
坪倉 真奈美

7月に入社しました坪倉真奈美です。東3階回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。急性期病棟の勤務が長く、新たな分野に少し戸惑いながらも、スタッフの方々の日々根気強く患者様に関わる姿に学ばせて頂いています。スタッフの一人として頑張りますのでよろしくお願い致します。



看護師
服部 美生

入社して半年がたちました。私は長年外来で勤務していたので日々の病棟勤務でやっていけるかどうか不安でした。しかし、配属された西2階病棟の皆さんは優しく指導してくださり、とても楽しく仕事をしています。私は、整形外科はほぼ初心者なのでこれから疾患について学んでいき、患者様や家族の気持ちに沿った退院調整や援助を行っていきたく思ひます。よろしくお願い致します。



看護師
永田 安奈

4月に入社し、人工関節の手術前後を担当する病棟に配属になりました。手術前後は患者様にとって不安や痛みで大変な時だと思ひます。患者様が安心して手術を受け、元気になるようこれから笑顔で忘れず頑張っていきたいと思ひます。

七夕コンサートを開催しました

8月7日午後7時から玄関ホールで、フォレストアンサンブルの合唱と有志による踊りを披露いたしました。暑い日々が連日続きましたが、それに加え熱演と会場の熱気で盛り上がりました。今回は、コンサート前にリハビリと趣味を兼ねて練習中の患者さまによる「富士山」「我は海の子」等5曲のハーモニカ演奏がありました。そして、民謡の踊りは、「安来節男踊り、女踊り」、隠岐の民謡「きんにやもにや」が披露されました。

「安来節」はお馴染みの衣装で“どじょうすくい”をユーモアたっぷりに踊りました。また、お馴染みのしゃもじをもって踊る“きんにやもにや”は隠岐から入院して来られた患者さまが飛び入りで参加され賑やかにしゃもじの音が響きました。フォレストアンサンブルの指導者、野津美和子さんは松江市を中心に活躍されているオペラ歌手ですが「松江市の歌」（正午に野外放送で流れています）、「サトウキビ畑」他を歌われ美しい声に聞き惚れたひとときでした。エンディングでは東日本大震災の復興応援歌「花は咲く」をピアニストの代香織さんの豪華前奏により始まり、院長、局長を交えフォレストアンサンブルのメンバーと一緒に歌いコンサートを終えました。



市民レガッタ3位入賞

7月27日、28日に開催された、第30回松江市民レガッタに今年も出場いたしました。当院からは男子3艇、ミックス（男女混合）1艇の計4艇がレースに出場しました。

2日間とも悪天候に見舞われ、準決勝前にはレースを一時中断するほどの豪雨となりましたが、なんとか天気は回復し、レースが再開。準決勝戦での接戦を経て、医局中心チーム“たまちゃん膝組”が3年目にして初の決勝戦進出を果たしました。決勝戦では決勝常連チームに囲まれ、これまた接戦の末、3位入賞という快挙を成し遂げました!

来年もさらに力をつけて出場する予定です。今後ともチーム“たまちゃん”を応援よろしくお願いたします。



熱中症対策にウォーターサーバーを設置

リハビリテーション科に脱水症状の予防として、この夏からウォーターサーバーがやってきました。場所は機能訓練室の入口付近に1台、作業療法室と言語聴覚室入口付近に1台、合計2台のウォーターサーバーを設置しました。中の水は三瓶山の水で、実際に飲まれた患者さまからは「とても冷たくて美味しいです。喉越しもいいですね」と好評を頂いています。

皆さんも暑い夏場など汗をかく時には、こまめに水分補給をして脱水症状に気を付けて運動しましょう!!



リウマチ教室からのお知らせ

- 講 義：「虫歯と歯周病について」
歯科口腔外科医長 野津一樹
- 指 導： 歯科衛生士による
ブラッシング指導と歯・舌の磨き方



【日 時】平成25年11月14日（木）13：30～15：30

【会 場】玉造厚生年金病院第1会議室

【参加方法】地域連携室にて事前予約
(当日参加も可能)

【お問合せ先】玉造厚生年金病院 リウマチサークル
担 当/地域連携室 荒川
電 話/0852-62-1591



あ と が き

今年の夏、子供たちと親戚の家の庭にゴザを敷いて、ペルセウス座流星群の観察をしました。ワクワクして夜空を眺めていると、時々スーッと光る筋を残し、夜空を切り裂いて流れる一瞬の光芒、「流れ星」をいくつも見る事ができ、大変感動しました。空気が澄むこれからの季節は天体観測に最適で、オリオン座流星群や、秋の四角形など見逃せない星が次々と登場するそうです。秋の夜長に天体観測なんていかがでしょうか？

ホームページから
たまつくりNOWがダウンロードできます。
<http://tamahosp.jp>

■編集・発行責任者 院長/三河義弘
■広報/小谷博信



玉造厚生年金病院
〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL.0852-62-1560

患者様の権利

あなたは、人種・国籍・性別・年齢・宗教、その他の個人的な背景に拘らず、差別なしに適切な医療を受ける権利を持ちます。
あなたは、担当の医師や病院を自由に選択できる権利を持ち、またどの治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を持ちます。
あなたは、すべての医療上の記録を知る権利を持ちます。また、医師から症状について十分な説明を受ける権利を持ち、自分自身に関わる治療方針を自由に決定できる権利を持ちます。
あなたのプライバシーと個人情報は完全に保護いたします。